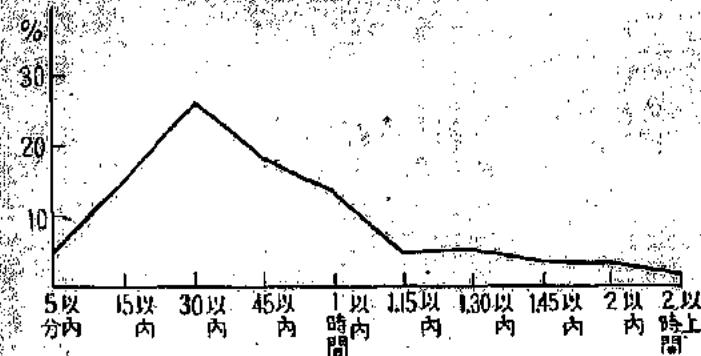


第一表 通勤時間別年少労働者(%)



○勤く年少者の通勤時間は、約三分の一が五分以内で、全体としての傾向をみると第一表のようになります。

即ち通勤時間が五分以内は一八・五%となつていています。これによつて金体のことは、産業労働の面からも、仕事の能率の面からも、或は余暇の三分の二の年少労働者は四五分以内の通勤時間で三〇分を中心として分布していまます。この三分の一の者は通勤に一時以上を費している事が明らかであります。

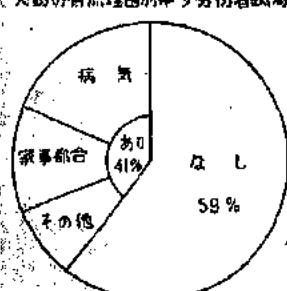
このように拘束時間が長いと仕事の能率の面からも、或は余暇の三分の一の者は通勤に一時以上を費している事が明らかであります。これが考えられ、このような長時間の通勤が少くなる事、何よりも年少労働者に悪い影響を与える場合が多い

○勤く年少者は公休日以外にどのような理由で、全休をとる事が多いと思われます。

〔第二表〕 欠勤回数、欠勤有無、欠勤日数別、年少労働者数

性別	欠勤回数別	なし	あり	理由別		欠勤日数別							合計	
				病気	家庭	事会	その他	2日以下	3日	4日	7日	14日	21日	
男	1回	-	82	34	23	25	64	12	4	-	2	1	-	209
	2回	-	7	2	6	6	4	2	-	-	-	-	-	10
	3回以上	-	1	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	119	90	36	32	31	68	15	4	3	-	-	-	209
女	1回	-	256	128	82	46	215	32	6	2	1	-	-	703
	2回	-	26	25	18	9	13	-	-	-	-	-	-	1
	3回以上	-	2	4	2	-	-	2	1	-	-	-	-	1
	計	419	284	157	102	55	230	45	6	2	-	-	-	703
合計	1回	-	338	162	105	71	279	44	10	4	1	-	-	912
	2回	-	33	27	24	15	17	15	-	-	-	-	-	10
	3回以上	-	3	4	5	-	-	2	-	-	-	-	-	10
	計	538	374	193	134	86	298	60	10	5	-	-	-	912
割合(%)		58.97	41.01	46.8	32.4	20.6	-	-	-	-	-	-	-	100

〔第三表〕 欠勤の有無理由別年少労働者数(%)



理由としては(第二表参照)病気が四六・八%で、半数近くがあると答えた者は四二・九%あります。即ち年少労働者の約四〇%は日数は少くとも月に二回は公休日以外に休み、しかもその半数は病気の為休んでいます。この原因としては仕事が無理であるとか、労働時間が長過ぎるとか、設備が整っていないとか、或は前記の通勤時間が長すぎる等色々な要素が考えられます。比較的長期間の大勤は少いので、労働時間、休憩時間、設備等環境をよくする事によって、年少労働者の病気による欠勤を或程度減ずる事が出来るのではないかと思われます。



勤く年少者の通勤について

ア)過去一ヶ月の間に休んだ日数があると答えた者は四二・九%あります。即ち年少労働者の約四〇%が一日以内となつていて、その九〇%が二日以内となつていて、も八〇%が二日以内となつています。

